

「第2回小児結核セミナー」のご案内

—小児結核の診断、治療、そして予防について学びましょう—

「小児結核セミナー」世話人

国立病院機構南京都病院 小児科 徳永 修

関西医科大学 教育センター 西屋 克己

わが国では小児結核患者数が非常に少ない数で推移しており、日常診療で小児結核症例に遭遇することが非常にまれとなってきました。2021年には全年齢における罹患率も人口10万対10を下回り、わが国は結核低まん延国の仲間入りを果たしました。このような状況にあります。一方で結核高まん延国から転入する外国人の結核発病例が増加する傾向が続いており、小児においても全登録例の20%~25%程度を外国出生の子どもたちが占める状況となっています。コロナ禍も一段落し、わが国に転入する外国人が再び増加することも予想され、これに伴って子どもを含む結核症例が再度増加することも心配されています。小児科医を含む、医療関係者が結核に対しても関心を持ち、正しい知識を持ち続けることが重要と考えます。

積極的に小児結核診療に携わっていただける小児科医の育成を目的として、「小児結核セミナー」の開催を企画し、昨年3月に大阪にて第1回目のセミナーを開催致しました。今年度は東京において第2回目のセミナー開催を計画致しました。

小児結核診療及び対策に精通した医師による小児結核の診断、治療、予防などに関する講義をWebにて事前聴講していただいた上で、対面形式でのセミナーにおいてプレナリーレクチャー、症例の呈示、模擬症例に対する診療方針の検討、集団感染も疑われる事例への対応方針検討、質疑応答などを行うことを予定しています。

小児結核の診療に関心を持ち、本講習会に参加される小児科の先生を募集致します。特に、感染症診療に興味を持っておられる若手の先生の参加を歓迎致します。

事前学習プログラム（各15分程度）：①結核感染と発病、小児結核の特徴、②小児を対象とした結核感染診断、③小児を対象とした結核接触者健診、④小児結核発病例の診断、⑤小児結核の治療、⑥周生期における結核疑い事例対応・院内感染対策、⑦BCGワクチン（コッホ現象や副反応への対応）、⑧感染症法に沿った医療の提供、保健所との連携

開催日時：令和6年2月中旬より事前学習プログラムの講義動画を配信

令和6年3月2日（土）10：30-15：30（予定） 対面形式での講習会

開催場所：MEETING SPAC AP 虎ノ門 (<https://goo.gl/maps/CUdL3hQbWJsy8eg96>)

定員： 30名を予定（応募者多数の場合、地域性などを考慮に参加者を決定します）

参加費： 無料

応募締め切り：令和6年2月13日（火）

申込先： Google formより申し込みください

https://docs.google.com/forms/d/1Y-OhrG_U6pTBwR86ln53XjhdEy7wePB0VB5JaYI6v-o/edit

本講習会は令和5年度日本医療研究開発機構新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「結核低蔓延化を踏まえた国内の結核対策に関する研究」（研究代表者 結核予防会結核研究所所長 加藤誠也）の分担研究「小児結核の診療・対策の充実に資する研究」（分担研究者 国立病院機構南京都病院副院長 徳永修）の一環として実施するものです。